

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡調査する縦断調査として、平成13年度から実施を始めた承認統計であり、21世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の2001年1月10日から17日の間及び7月10日から17日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

3 調査の時期

1月生まれば平成18年8月1日、7月生まれば平成19年2月1日（対象児の年齢 5歳6か月）とした。

4 調査事項

(1) 家族の状況

同居者、保育者、父母の就業状況

(2) 子どもの生活の状況

起床・就寝時間、遊び場所、遊び相手、遊びで気にかかること、習い事の状況、テレビを見る時間、コンピュータゲームをする時間、子どもの接し方、子どもの行動、手伝い、病気やけが

(3) 子育て意識

父母の子どもとの接し方、食事時に特に気をつけていること、子どもを育てていてよかったと思うこと、子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子育て費用

※第1回調査から第6回調査までの調査項目については、37 ページ「調査項目一覧」を参照。

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は以下のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,381	91.6%	42,187	38,535	91.3%

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

結果の概要

1 家族の状況

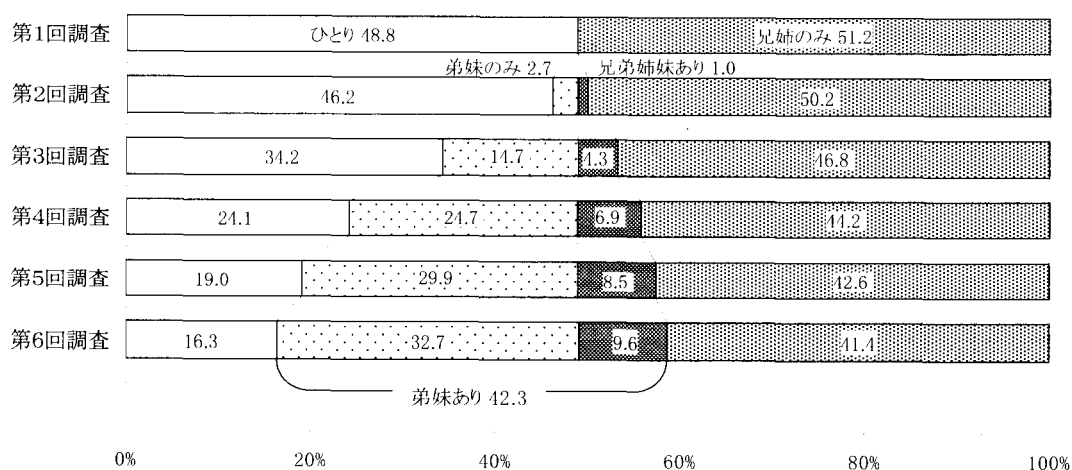
(1) きょうだいの構成

「弟妹あり」は4割を超えた。

きょうだい構成の変化をみると、第1回調査時（月齢6か月）に「ひとり」は48.8%、「兄弟のみ」は51.2%、第6回調査（5歳6か月）では「ひとり」16.3%、「兄弟のみ」41.4%となっている。年を重ねるごとに弟妹が生まれ、第6回調査では「弟妹あり」が42.3%となっている。

(図1)

図1 きょうだい構成の変化



注：第1回調査から第6回調査まで回答を得た、きょうだい構成の「不詳」を除く者(総数 35,632)を集計。

(2) 保育者

ふだんの保育者は「保育士等・幼稚園の先生」が97%

ふだんの保育者（複数回答）をみると「保育士等・幼稚園の先生」は97.0%で最も多く、第5回調査（4歳6か月）と比較すると6.7ポイント増加している。次いで、「母」は91.0%となっており、第5回調査と比較すると差は少ないが、第1回調査と比較すると6.5ポイント減少している。(表1)

表1 ふだんの保育者（複数回答）の変化

	総数	ふだんの保育者(複数回答)										
		母	父	祖父母	祖母		祖父		幼保 稚園 士等 の先 生	保 育 士 等	の幼 稚 生 園	そ の 他
					母方	父方	母方	父方				
第1回調査 総数	100.0	97.5	48.4	21.8	21.2		9.5		3.5	3.5	・	2.0
第2回調査 総数	100.0	95.7	50.5	27.1	15.1	12.7	5.8	5.6	18.0	18.0	・	2.3
第3回調査 総数	100.0	93.4	45.4	26.1	14.6	12.1	5.7	5.1	25.6	25.6	・	2.3
第4回調査 総数	100.0	92.3	44.8	24.1	13.3	11.1	5.3	4.8	49.7	33.2	16.6	1.7
第5回調査 総数	100.0	90.9	47.0	23.9	13.3	11.0	5.4	5.0	90.3	39.3	52.0	1.7
第6回調査 総数	100.0	91.0	47.8	23.7	13.0	10.9	5.8	5.0	97.0	37.9	59.7	1.6
1月生まれ	100.0	91.2	47.6	24.0	13.3	10.9	6.0	5.0	99.0	36.6	62.9	1.7
7月生まれ	100.0	90.8	47.9	23.3	12.7	10.9	5.6	5.1	95.0	39.1	56.5	1.5

注：1) 第1回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 35,783)を集計。

2) 総数にはふだんの保育者の「不詳」を含む。

3) 「保育士等」には「保育所・託児所の保育士など」「保育ママさんやベビーシッター」を含む。

(3) 母の就業状況

ア 就業の有無

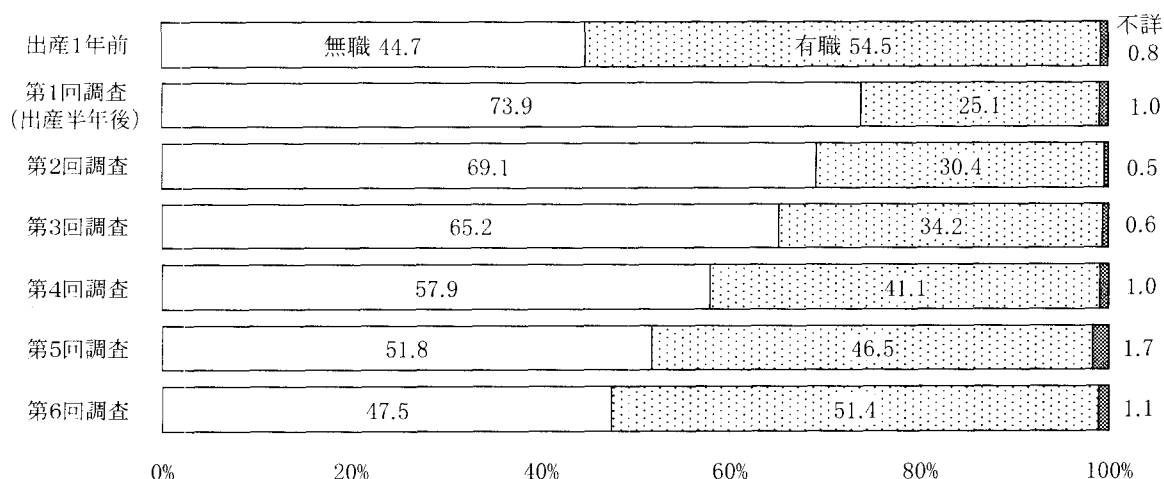
母が有職の割合は5割を超えた。

出産1年前に54.5%であった母の「有職」の割合は、第1回調査（出産半年後）で25.1%と減少したが、年々増加して第6回調査では51.4%となり、出産1年前に近づきつつある（図2）。

弟妹の有無別に母の就業状況をみると、「有職」の割合は「弟妹なし」で59.4%となっている。

さらに、弟妹がいる場合の末の弟妹の年齢別にみると、年齢が高いほど「有職」の割合が高くなっている。（表2）

図2 母の就業の有無の変化



注：母と同居している、第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,361）を集計。

表2 弟妹の有無・きょうだい構成別にみた母の就業状況

(単位:%)

	総数	無職	有職	就業状況					
				常勤	パート・アルバイト	自営業・家業	内職	その他	
総数	(100.0)	100.0	46.9	51.9	16.8	26.1	5.8	2.6	0.6
弟妹なし	(57.5)	100.0	39.4	59.4	17.8	31.9	6.3	2.7	0.7
弟妹あり	(42.0)	100.0	57.2	41.6	15.5	18.0	5.2	2.5	0.5
末の弟妹の年齢0歳	(5.8)	100.0	66.9	32.0	15.6	9.1	5.1	1.2	1.1
1歳	(8.1)	100.0	62.1	36.7	16.1	13.1	5.0	2.0	0.5
2歳	(11.7)	100.0	60.5	38.3	15.6	15.0	4.6	2.7	0.4
3歳	(13.0)	100.0	51.3	47.5	14.8	23.7	5.3	3.3	0.5
4、5歳	(3.4)	100.0	40.2	58.8	15.7	33.3	7.1	2.2	0.5
きょうだい構成 (弟妹なし)									
ひとり	(16.1)	100.0	40.4	58.4	21.8	29.2	5.0	1.7	0.7
兄姉のみ	(41.3)	100.0	39.0	59.7	16.2	33.0	6.8	3.1	0.6
きょうだい構成 (弟妹あり)									
弟妹のみ	(32.3)	100.0	58.4	40.5	16.0	17.5	4.2	2.2	0.6
兄弟姉妹あり	(9.7)	100.0	53.1	45.5	13.7	19.7	8.3	3.4	0.5

注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者（総数 38,201）を集計。

2) 総数には弟妹の有無「不詳」、きょうだい構成「不詳」、母の就業状況「不詳」を含む。

3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

イ 就業状況の変化

「パート・アルバイト」の母が増えている。

母の就業状況の変化をみると、「パート・アルバイト」は、第1回調査（出産半年後）（3.7%）から第6回調査（25.8%）まで年々増加している。一方、「常勤」の割合は、第1回調査（出産半年後）以降の変化は少なく、第6回調査では16.5%となっている。（図3-1）

出産1年前に「常勤」の母のうち、「常勤」を続けている割合は約3割。

出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化をみると、第1回調査（出産半年後）で「常勤」は47.6%に減少し、第6回調査では39.9%となっている。

出産1年前に「常勤」の母のうち、第6回調査まで「常勤」を続けている割合は30.9%となっている。

出産1年前に「常勤」の母が第1回調査（出産半年後）で「無職」となった割合は48.8%であったが、「無職」は年々減少し、第6回調査では34.4%となっている。（図3-2）

図3-1 母の就業状況の変化

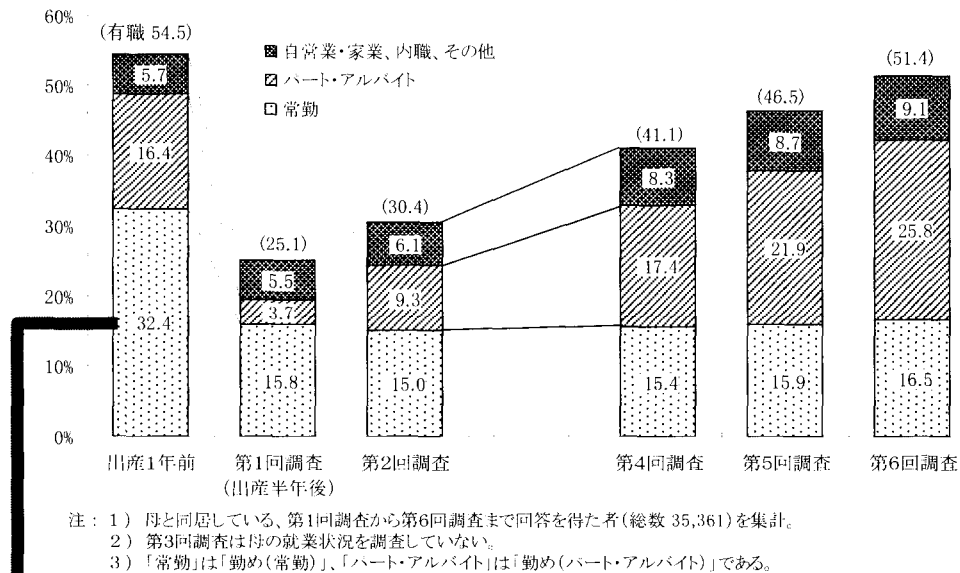
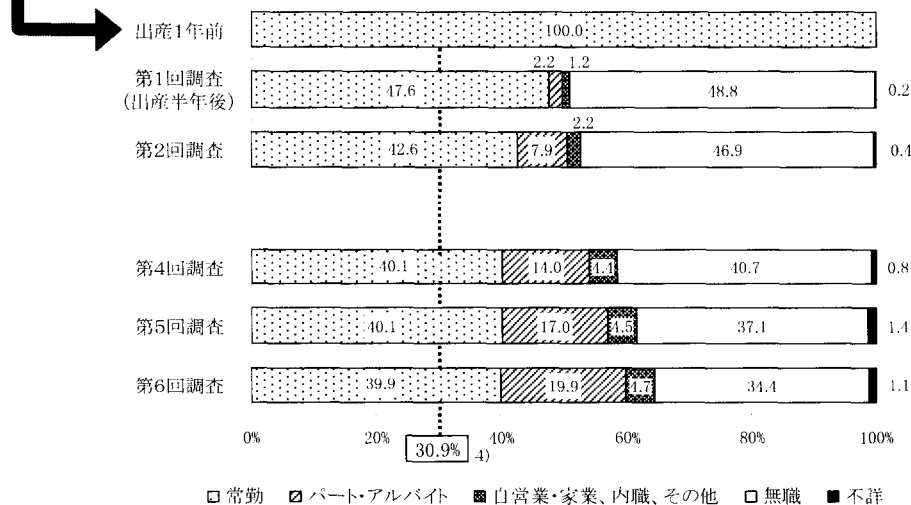


図3-2 出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化



2 子どもの生活の状況

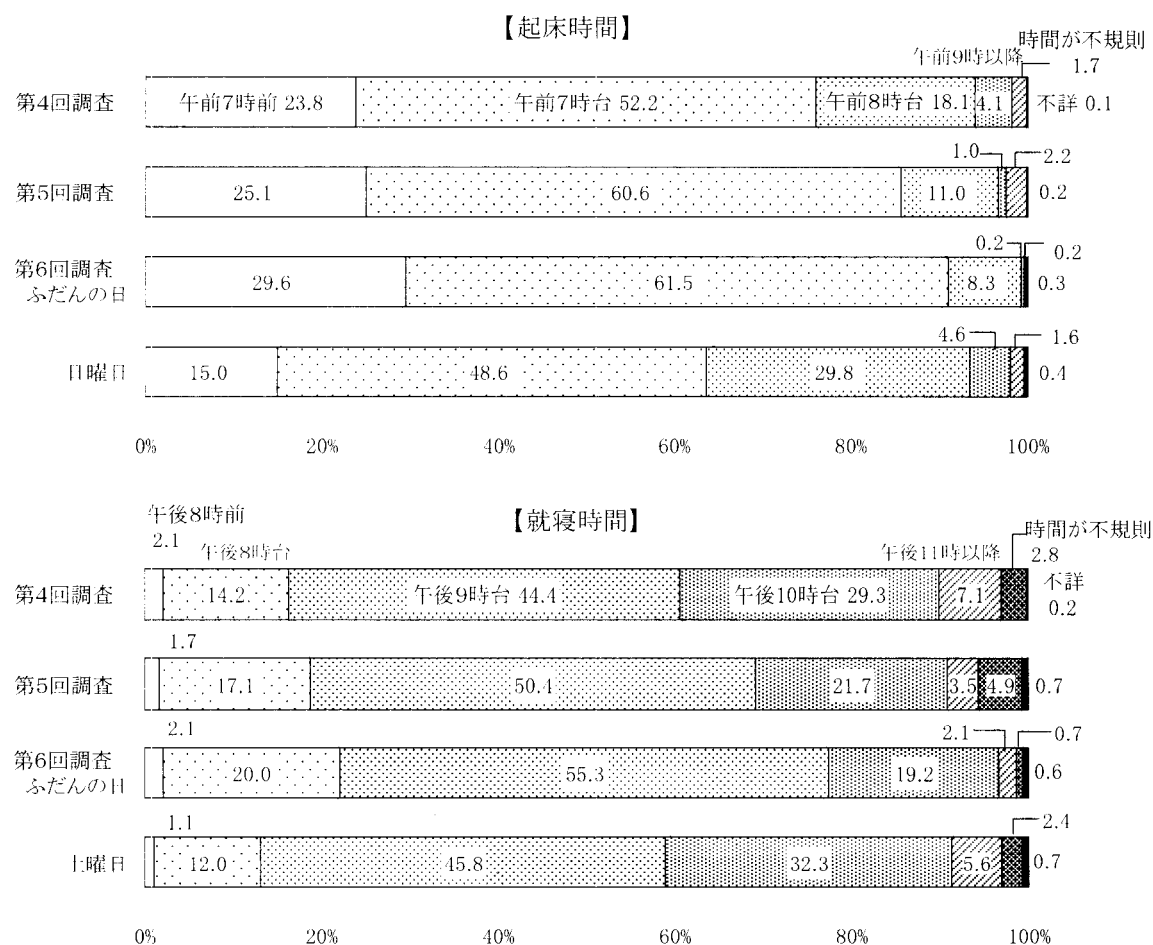
(1) 起床・就寝時間

ふだんの日は起床時間・就寝時間ともに早くなっている。

第4回調査（3歳6か月）以降の子どものふだんの日での起床・就寝時間をみると、起床時間は午前8時以降が減少、就寝時間は午後10時以降が減少し、起床時間・就寝時間ともに早くなっている。

第6回調査の日曜日の起床時間・土曜日の就寝時間をふだんの日と比較すると、起床時間・就寝時間ともに遅い時間帯の割合がふだんの日より多くなっている。（図4）

図4 子どもの起床・就寝時間



注：1）第4回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 36,691）を集計。

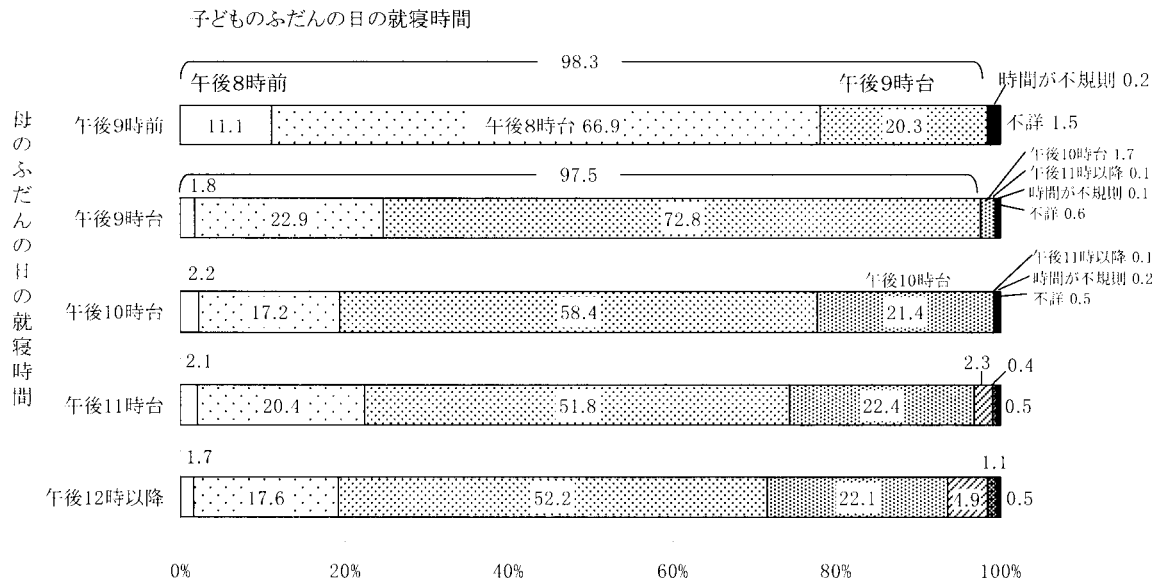
2）第4回調査、第5回調査はふだんの状況を調査した。

ふだんの日の子どもの就寝時間を父母の就寝時間別にみると、母の就寝時間が「午後9時前」では、子どもは「午後9時台」までに98.3%が就寝し、母が「午後9時台」では子どもは「午後9時台」までに97.5%が就寝している。

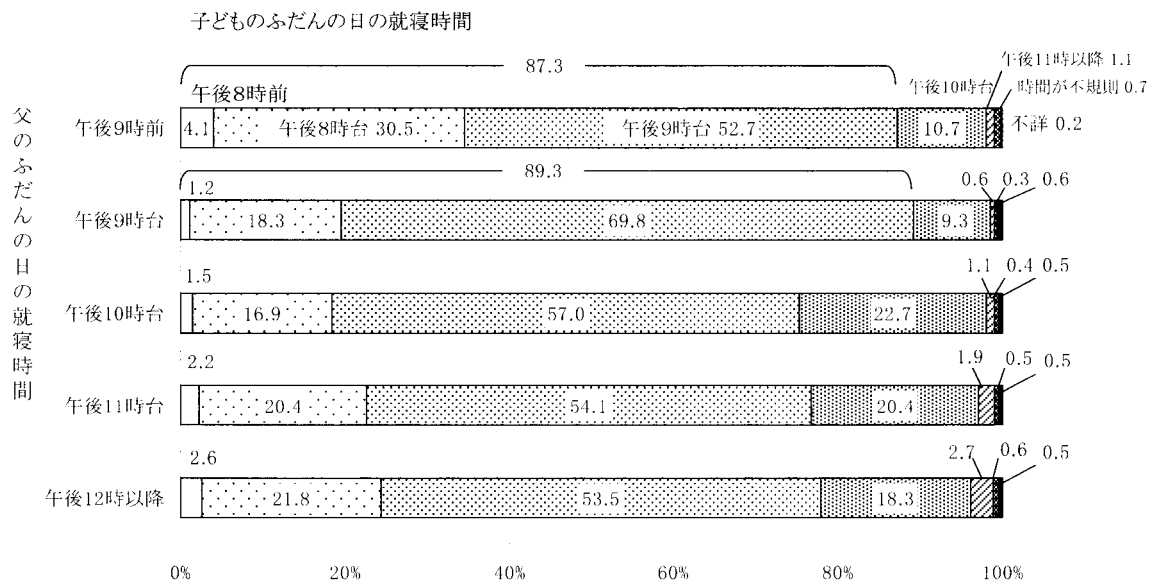
父の就寝時間が「午後9時前」では子どもは「午後9時台」までに87.3%が就寝し、父が「午後9時台」では子どもは「午後9時台」までに89.3%が就寝している。

父母の就寝時間が午後10時以降では、いずれの時間帯でも子どもは「午後9時台」が5割を超え、「午後10時台」が約2割と、同様の傾向となっている。(図5)

図5 ふだんの日の父母の就寝時間別にみた子どもの就寝時間



注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 38,201)を集計。
 2) 母のふだんの日の就寝時間の総数に対する割合は以下のとおりである。
 「午後9時前」1.2%、「午後9時台」9.8%、「午後10時台」21.9%、
 「午後11時台」34.1%、「午後12時以降」23.3%



注：1) 父と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 36,040)を集計。
 2) 父のふだんの日の就寝時間の総数に対する割合は以下のとおりである。
 「午後9時前」1.3%、「午後9時台」6.6%、「午後10時台」15.2%、
 「午後11時台」28.9%、「午後12時以降」30.0%

(2) 遊びのようす

児童館や児童公園などで遊ぶ子は約8割。

「よく遊ぶ」が多い場所は、「自宅」が 95.1%と最も多くなっている。次いで「児童館や児童公園などの公共の遊び場」で「よく遊ぶ」が 15.1%となっており、「ときどき遊ぶ」(63.6%) と合計すると「遊ぶ」は 78.7%となっている。

一方、「遊ばない」が多い場所は、「空き地や路地」が 59.3%、「原っぱ、林、海岸などの自然の場所」が 40.8%となっている。(表3)

「同じ年の子」、「大人(親、祖父母等)」と遊ぶ子は約9割。

「よく遊ぶ」が多い相手は、「きょうだい」が 73.1%と最も多くなっている。次いで「同じ年の子」と「よく遊ぶ」が 50.8%、「大人(親、祖父母等)」と「よく遊ぶ」が 50.5%となっており、「ときどき遊ぶ」と合計すると「遊ぶ」は「同じ年の子」88.9%、「大人(親、祖父母等)」93.1%となっている(表3)。

表3 遊び場所・遊び相手

(単位:%)

		総数	遊ぶ		遊ばない	不詳	
			よく遊ぶ	ときどき遊ぶ			
遊び場所	自宅	100.0	98.7	95.1	3.6	0.1	1.2
	友だちの家	100.0	67.5	8.9	58.6	28.0	4.5
	児童館や児童公園などの公共の遊び場	100.0	78.7	15.1	63.6	16.8	4.5
	原っぱ、林、海岸などの自然の場所	100.0	53.4	6.5	46.9	40.8	5.9
	デパート・スーパーなどの遊び場	100.0	64.7	5.9	58.8	29.8	5.5
	空き地や路地	100.0	35.1	10.0	25.1	59.3	5.6
遊び相手	ひとりで遊ぶ	100.0	82.9	43.5	39.4	11.1	6.0
	きょうだいと遊ぶ	100.0	81.5	73.1	8.4	13.9	4.6
	同じ年の子と遊ぶ	100.0	88.9	50.8	38.1	6.5	4.6
	年上の子と遊ぶ	100.0	73.8	21.6	52.2	20.0	6.2
	年下の子と遊ぶ	100.0	67.8	16.1	51.6	25.3	7.0
	大人と遊ぶ(親、祖父母等)	100.0	93.1	50.5	42.6	2.2	4.6

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

気にかかることは「近所に友だちがいない」が3割超。

遊び場所で気にかかること（複数回答）は、「雨の日に（家以外で）遊べる場所がない」が51.0%と多くなっている（表4）。

友だちとの関係で気にかかること（複数回答）は、「近所に友だちがいない」が34.4%と多くなっており、「近所に友だちがいない」が気にかかる場合の遊び相手を総数と比較すると、「同じ年の子」と「よく遊ぶ」割合が37.2%と低く、「ひとり」で「よく遊ぶ」割合が49.5%と高くなっている（表5、図6）。

表4 遊び場所で気にかかること（複数回答）

(単位:%)

	総数に対する割合
総数	100.0
遊び場やその周辺に危険などところがある (こわれた遊具、川、道、工事現場など)	27.6
大人の目が届きにくい場所がある	19.3
ボール遊びができるような場所がない	24.7
雨の日に(家以外で)遊べる場所がない	51.0
遊び場所が近くにない	21.1

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

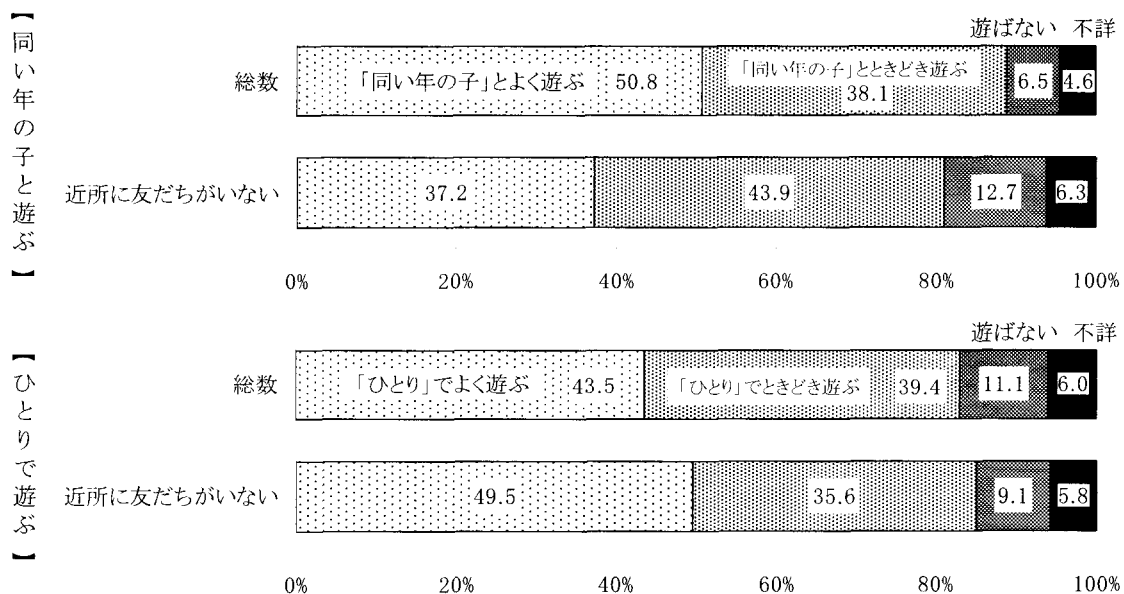
表5 友だちとの関係で気にかかること（複数回答）

(単位:%)

	総数に対する割合
総数	100.0
近所に友だちがいない	34.4
友だちと遊べない	3.1
友だちと遊びたがらない	2.6
友だちをいじめることがある	3.1
友だちにいじめられることがある	6.9

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

図6 「近所に友だちがいない」が気にかかる場合の遊び相手



注: 1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
 2) 「総数」は表3「遊び相手」の「同じ年の子と遊ぶ」、「ひとりで遊ぶ」の数値である。
 3) 「近所に友だちがいない」の総数に対する割合は34.4%である。

(3) 習い事

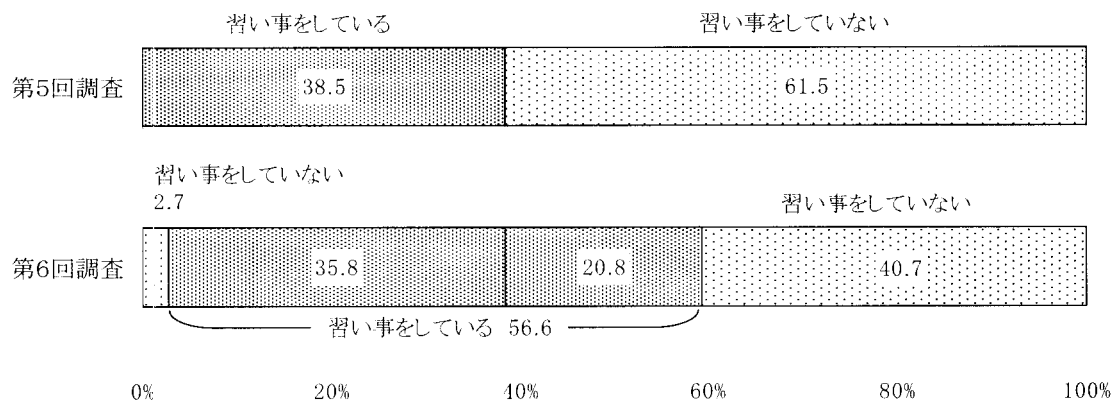
習い事をしている子は半数以上。

男児は「水泳」、女児は「音楽(ピアノなど)」が最も多い。

「習い事をしている」子は56.6%で、そのうち第5回調査で「習い事をしている」子は35.8%となっている(図7)。

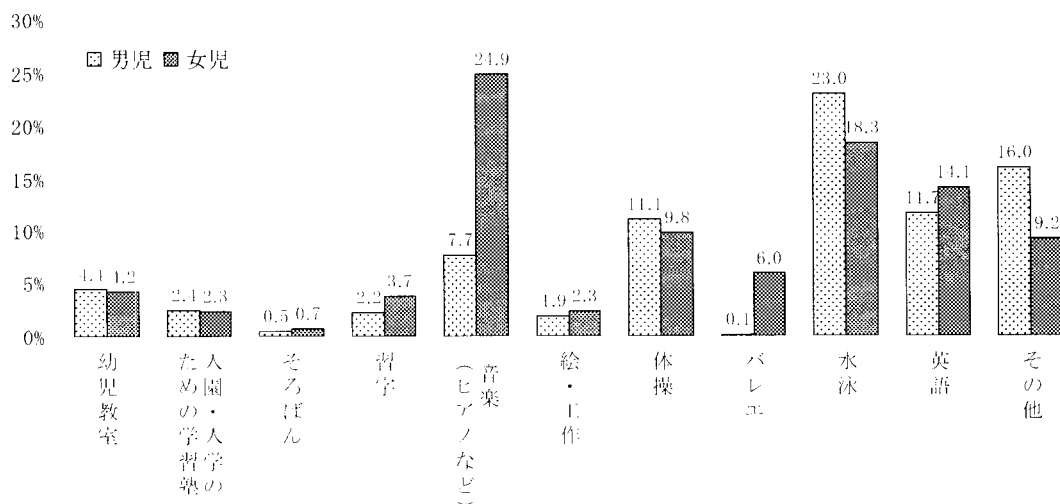
性別に習い事の種類(複数回答)をみると、男児では「水泳」が23.0%、女児では「音楽(ピアノなど)」が24.9%と最も多くなっている(図8)。

図7 習い事をしている子の変化



注: 第5回調査と第6回調査の「習い事」の回答を得た者(総数 36,926)を集計。

図8 性別にみた習い事の種類(複数回答)



注: 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女児 18,522))を集計。

(4) テレビ

テレビを見る時間は、「1～2時間未満」が最も多くなった。

ふだんの日にテレビ（ビデオ、DVDを含む）を見る時間を第5回調査と比較すると2時間以上が減少し、「1～2時間未満」が40.0%と最も多くなった（図9）。

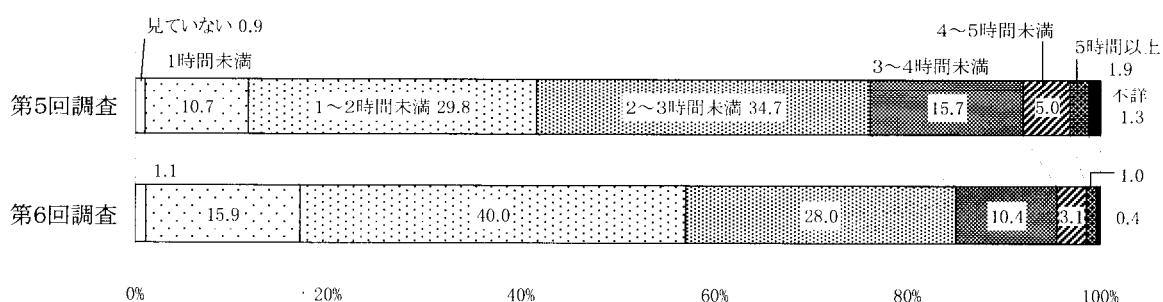
ふだんの日の「1～2時間未満」をみると、日曜日にテレビを見る時間の「1～2時間未満」が44.9%と最も多く、次いで「2～3時間未満」40.2%となっている。2時間以上テレビを見る割合は約5割となっている。（表6）

また、テレビの見方との関わり方をみると、「番組の内容によって見せないようにしている」については「している」が68.9%、「連続して長時間見せないようにしている」については「している」が72.2%、「見ている番組について子どもと話をする」は「よく話す」が75.6%となっている（表7）。

ふだんの日にテレビを見る時間を「番組の内容によって見せないようにしている－していない」別にみると、「している」場合は「2時間以上」の割合が40.2%と「していない」（49.5%）場合より低くなっている。

また「見ている番組について子どもとよく話す－あまり話さない」別にみると、「よく話す」場合と「あまり話さない」場合のテレビを見る時間は同様の傾向となっている。（図10）

図9 ふだんの日にテレビを見る時間の変化



注：1）第5回調査と第6回調査の回答を得た者（総数 37,294）を集計。
2）第5回調査のテレビを見る時間「不詳」には「わからない」を含む。

表6 ふだんの日、日曜日にテレビを見る時間

（単位：%）

	日曜日にテレビを見る時間											
	総数	見えない	見ている	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5時間以上	不詳		
ふだんの日にテレビを見る時間	総数	(100.0)	100.0	0.7	98.5	8.6	29.5	31.3	18.1	7.2	3.8	0.9
	見えない	(1.1)	100.0	18.3	81.0	54.5	20.7	4.5	0.9	0.2	0.2	0.7
	見ている	(98.5)	100.0	0.5	99.0	8.1	29.7	31.7	18.4	7.3	3.8	0.5
	1時間未満	(15.9)	100.0	1.9	97.8	35.2	52.7	8.5	1.1	0.2	0.1	0.3
	1～2時間未満	(39.9)	100.0	0.3	99.3	4.9	44.9	40.2	8.1	1.0	0.2	0.4
	2～3時間未満	(28.0)	100.0	0.1	99.3	1.3	9.1	45.0	34.2	8.2	1.6	0.6
	3～4時間未満	(10.5)	100.0	0.0	99.2	0.5	3.4	10.1	44.8	29.8	10.5	0.7
	4～5時間未満	(3.2)	100.0	-	99.0	0.2	1.6	5.1	11.1	41.2	39.8	1.0
	5時間以上	(1.0)	100.0	-	100.0	-	0.8	1.8	4.1	6.3	87.1	-

注：1）第6回調査の回答を得た者（総数 38,535）を集計。
2）総数にはふだんの日にテレビを見る時間「不詳」を含む。

表7 テレビの見方との関わり方

(単位:%)

	総数	している	していない	不詳
番組の内容によって見せないようにしている	100.0	68.9	30.0	1.1

	総数	している	していない	不詳
連続して長時間見せないようにしている	100.0	72.2	27.0	0.8

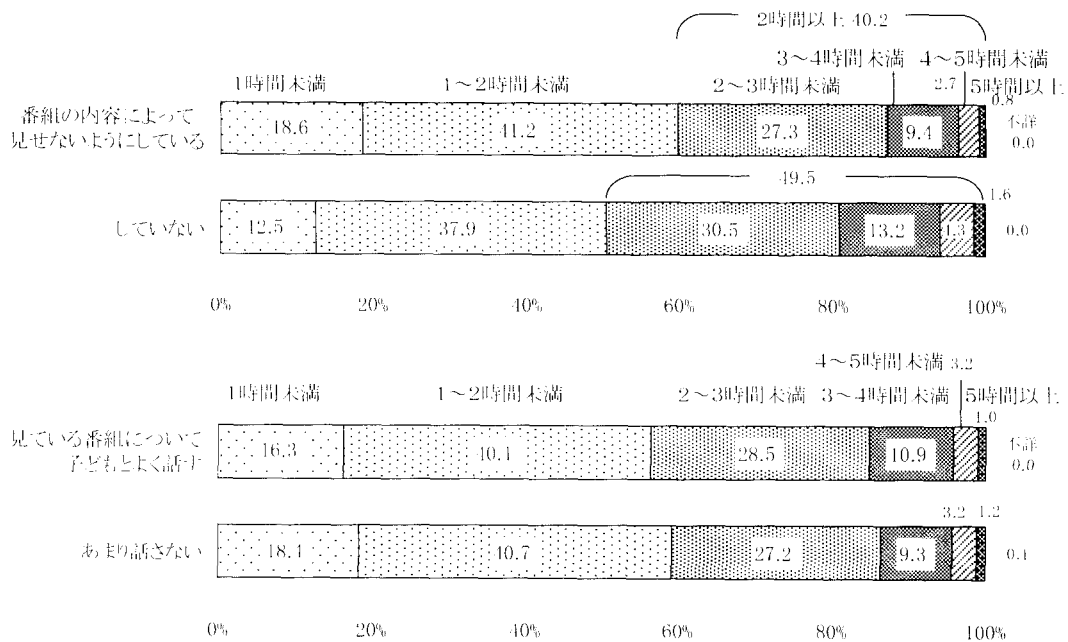
	総数	よく話す	あまり話さない	不詳
見ている番組について子どもと話を	100.0	75.6	23.5	0.9

	総数	大人と一緒に見ることが多い(親、祖父母等)	ひとり又は子どもだけで見ることが多い	不詳
一緒に見ている人	100.0	60.0	38.0	2.0

	総数	午後9時 くらいまで	午後10時 くらい	午後11時 くらい	午後11時 以降	不詳
見ている時間で遅い時の時間	100.0	52.4	28.5	8.9	1.4	8.8

注:第6回調査の回答を得た、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方テレビを見る者(総数 38,309)を集計。

図10 テレビの見方との関わり方別にみたふだんの日にテレビを見る時間



注: 1) 第6回調査の回答を得た、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方テレビを見る者(総数 38,309)を集計

2) 「1時間未満」には、「ふだんの日」「見えていない」を含む。